

知恵の連鎖で飛躍する京都産業



会頭 立石 義雄
オムロン株式会社
名誉会長

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

自公政権による経済政策によって日本経済が落ち着きを取り戻しつつあるなか、新しい年を迎えました。成長戦略が実行に移され、経済の好循環が生まれることによって、景気の明るさが地域経済や中小企業にまで行き届く1年になることを期待しております。

さて、京都の行政、産業、大学、文化芸術、メディアのトップが「30年後の京都のありたい姿」について3年間にわたって議論を重ね、昨年5月に最終提言書「京都ビジョン2040」を発表しました。日本文化の中枢都市として、知や精神の交流、人と人との交流、文化や産業の大交流を作り出す「世界交流首都・京都」を未来像としています。これまで絶えず革新を繰り返すことで

新たな伝統を創造してきたように、京都が時代の変化の先頭に立って、知恵と技術を駆使して幅広い分野で価値を創造し続けることが必要です。

本所が進めてきた知恵ビジネスの取り組みも、この潮流の中に位置づけており、昨年11月からの会頭3期目のスタートにあわせ、今後3年間の指針となる「ニュー京商ビジョンサードステージ」を策定し、3つの目指したい姿を掲げました。

「知恵の連鎖で飛躍する京都産業」
本所の知恵ビジネスの取り組みは、普及から育成、発展、誘発とステップを進めており、広がりを実感しています。サードステージでは、産学公の連携のもとで、知恵ビジネスの種をまき、じっくり育て、知恵ビジネスの実を収穫する「知恵産業の森」の実現を目指しています。知恵ビ

ジネスの育成施策を拡充、加速させるとともに、オール京都での支援環境を整備し、数多くの事業者が知恵ビジネスやグローバル市場への挑戦など新たな事業創造や顧客創造につながる施策やプロジェクトを推進することにより、次々と自律的に知恵ビジネスが生み出されていく「知恵の連鎖」をコンセプトに施策を展開してまいります。

「人が集い交流し、新たな価値を生むまち」
クリエイティブな才能が発揮できる環境を整えつつ、新たな観光需要の取り込みや京都MICEの推進を通じて、京都のブランド価値、都市格を向上させることにより、世界中の人や知恵、情報の一大交流都市を目指します。

「会員とともに京都の活力を生み出す京商」
昨年、おかげさまで1万2千会員を回復しましたが、会員の皆さんの満足度を高め、属性やニーズにきめ細かに応えることが大切です。会員同士の交流・ネットワーク作りや、国内外への情報発信支援、会員の皆さんの声を地域行政や国に届けるための提言・要望活動の強化などに取り組みます。

本年が皆さまにとって、実りある年となることを祈念いたしますとともに、本所への一層の参画をお願い申し上げます。新年のあいさついたします。

過去を超えて、新たな可能性へ



副会頭
柏原 康夫
株式会社京都銀行
代表取締役会長

謹んで、新春のお慶びを申し上げます。
安倍政権の誕生から1年、アベノミクスの定量的な効果はともかく、市場や企業のセンチメントを前向きへと変え、トレンドの転換が大きく進んだことは紛れありません。2020年の東京オリンピック開催決定も先行きへの明るい希望を提供しています。

奇しくも2020年は、プライマリー・バランスの黒字化など、様々な政策のゴールとされている年であり、これからの6年間は社会のあらゆる分野で構造の大転換が図られることでしょう。6年間という歳月は十分な準備期間にも思えますが、一方で、いま着手しなければ間に合わないことも多いはずです。

そうした中で、政府のマクロ政策のみに依存するのではなく、「国を助けて国に頼らず」という自立への強い気概をもって、改革にひるまず、改革の痛みを恐れない覚悟をもって立ち向かう6年としなければなりません。

これまでの古くさい常識や束縛を超え、過去の前例や限界を超えて挑む姿勢こそが新しい可能性を生み出すと信じ、京商の「知恵産業のまち・京都の推進」の集大成へ向けて微力を尽くしてまいりる所存でございます。

本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

3期目を迎えて



副会頭
塚本 能交
株式会社ワコールホールディングス
代表取締役社長

2014年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の11月、臨時議員総会でのご承認により、再び副会頭に就任させていただく事になりました。

「知恵の連鎖」を合言葉に、「ニュー京商ビジョン サードステージ」の実現に向け、微力ではございますが務めてまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国内経済は、消費が好調さを維持する中、生産や雇用の回復が続く一方で、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が懸念されるなど、先行きは相変わらず不透明な状況です。こうした予測や景気に左右されることなく、常に良質を追い求め続ける京都ならではの「おもてなしの精神」を見失うことがなければ、今後も揺るぎない未来を切り拓くことができると確信しております。

本年も、立石会頭のサポートをはじめ、担当の織維・染織部会やファッション産業振興特別委員会などの様々な活動を通じて、一人でも多くの会員の皆様の声に耳を傾け、京都を支える地元産業の振興に尽くしてまいりる所存です。

本年が会員の皆様にとりまして良い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

オール京都で夢の実現を



副会頭
堀場 厚
株式会社堀場製作所
代表取締役会長兼社長

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

京都商工会議所もニュー京商ビジョンの最終仕上げに向けてのスタート年を迎えました。

オール京都でますます存在感を示していくよう、気持ちを新たに引き締め、邁進していく所存です。

ここ数年、日本を始め、世界全体が閉塞感の中にありましたが、昨年ようやく日本経済が動きだし、また2020年東京オリンピックの開催決定も追い風となり京都の経済界も景況感が上がってきています。

京都府内のサッカー専用スタジアム建設も私達の手で創りあげることのできる、夢のかたちであると考えますので会員の皆様のご理解、ご協力を引き続きよろしくお祈りいたします。

新年が皆様にとりまして、一層の飛躍の年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

良い年に



副会頭
服部 重彦
株式会社鳥津製作所
代表取締役会長

京都では歴史上の出来事や痕跡をつい昨日のことのように、見たり聞いたりする機会が多く、興味深い。昨秋紅葉を楽しんだ大原の宝泉院、額縁庭園で名高い。ここには関が原の合戦の前哨戦となった伏見城の戦いで石田三成方に攻められ落城した家康譜代の鳥居元忠ら数百人が自刃したという、血痕の生々しく残る城の床板が天井板（血天井）として霊の供養のために納められている。「あれはもがき苦しんだつめ跡」「こちらは鎧の跡」「これが鼻でこれが口……」すこし怖くなるが、タイムリングが良ければ住職からそんな話も聞ける。

鳥居元忠は1800の兵で4万の相手方と戦い、力尽きた。家康は三成の出方を探るため、わざと少数の兵を城に留め負け戦を仕組んだとも言われている。譜代元忠は捨て駒さえも意気に感じ主君のため奮戦し、予想外にも落城まで10日以上もかかったとのこと。文字通りの「命懸け」の奉公である。

平和な時代になりこのような場面はまず見られない。しかし、どんな時代になろうとも戦国武将よろしく五感を研ぎ澄まし知力、体力を最大限に充実させ、日々命を燃焼させる努力は怠りたくない。

良い年にいたしましたしように。本年も宜しくお願ひします。

知恵と匠の京都ブランドで、
世界を市場に



副会頭
福永 晃三
株式会社フクナガ
代表取締役会長

新年あけましておめでとうございます。京都を訪れる外国人観光客が順調に増加しています。和食の世界無形文化遺産への登録が追い風となつて、飲食や宿泊、小売、土産物産など、観光関連産業のすそ野がより豊かに拡大し、京都経済にとって明るい1年となることを願っております。

さて、前期はクリエイティブビジネスの推進を通じて、モデル企業の選定や企業間コラボレーションの実現に取り組んで参りました。数多くの中小企業が、京都の知恵やブランド力、匠の技を活かして、独自の付加価値を高め、切磋琢磨しておられることを実感いたしました。

グローバル時代にあつて、百社百様のクリエイティブビジネスに取り組んでいる意欲旺盛な中小企業が海外へ踏み出し、新市場を開拓していくことが、ニュー京商ビジョンサードステージの一つの柱になると思います。

微力ではありますが、これまでの経験を活かして会員の皆さまをご支援し、立石会頭が提唱される「知恵産業のまち・京都の推進」に力を尽くしてまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

夢の実現に向けて



副会頭
久芳 徹夫
京セラ株式会社
代表取締役会長

新たな年の始まりに際し謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は為替相場も円安傾向を維持するなど、日本を取り巻く経済環境が好転し、業況や雇用面にも改善の兆しが見えて参りました。また、コスト削減等の内部努力を地道に継続することにより、業績を大きく回復する企業が多く見られました。

しかしながら、刻々と変化する市場環境に対し、私たち企業人は安堵することなく、更なる創意工夫を重ねていかなければなりません。

特に、日本の得意とする「ものづくり」に更に磨きをかけ、ここ京都の伝統的な匠の技を重ね合わせることで、今までに無い素晴らしい企画や商品を世に送り出していくことができるのではないかと考えています。

京商副会頭としまして、ニュー京商ビジョンが描く「夢」の実現に向け、微力ながら尽力して参る所存ですので、皆様のご支援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年1年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

小売業界のおもてなしは 付加価値の追求



小売商業部会 部会長
川勝 康行
株式会社川勝總本家
代表取締役社長

平成26年の新年をご健勝にてお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

少子高齢化人口減少の続く日本。ただ人が移動するだけでバイそのものは一向に増えることなく、いろいろな店ができては溢れ出た分だけ、どこかの店で必ず冷え込みが生じています。

今の流通業界の現状を考えると、一言でいって、「安さ」だけが決め手となっている店が余りにも多くなっています。例えば、ネット通販店は、店も持たず、在庫も販売員も置く必要がないため、店舗型の量販店より商品を安く売ることが出来ます。一方、これにより、従来型の安さだけを武器にした量販店は、さらに安く売ることを目指し、新たにネット通販業界に乗り入れるといった連鎖が生じてしまっています。私は、小売業界の本質は、安さの提供だけではなく、付加価値のある商品づくりと、質の高い店舗づくりだと考えます。どこの専門店にも負けない、「おもてなし」を追求した企業のみが生きていくでしょう。

「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録され、2020年の東京オリンピックの開催も決まり、明るい未来に希望をもつて頑張ります。部会事業も、多くの会員の方々にご参加いただけます様、全力で取り組んでまいります。皆様の弥栄を心よりご祈念申し上げます。

和食のユネスコ無形文化遺産 登録を祝して



卸売商業部会 部会長
池本 周二
京都全魚類卸協同組合
理事長

謹んで新春のお祝いを申し上げます。

立石会頭の3期目がスタート、私共卸売商業部会はサードステージの成就に向けて全力で取り組んで参ります。

昨年は消費者に誤解を与えるメニューの虚偽表示問題が大きくクローズアップされ、私共生鮮食料品を扱う卸売市場でも少なからず悪い影響を受けましたが、私共卸売市場ではJAS法や食品衛生法に基づき安全・安心な流通と表示を徹底していることから、消費者の皆様にはご安心いただけるものと考えています。

新年の明るい話題は私共の商いに直結する「和食のユネスコ無形文化遺産登録」に尽きると思います。京料理に関係する多くの人々の尽力により和食が文化遺産に登録されることは良質な食材の提供を担う私共卸売市場関係者にとっては一番の朗報であり、「健康家族は魚食から」を信念としている私にとりましては、魚食普及を世界に発信できる喜びに心躍る新年でございます。

和食のユネスコ無形文化遺産登録を祝うと共に、病気に打ち勝ち力強く前進する1年のスタートといたします。

日本の「きもの」も 「和食」に続いて…



織維・染織部会 部会長
服部 正毅
服部織物株式会社
代表取締役専務

新年、明けましておめでとうございます。

この度、新任部会長の役を仰せつかりました。どうかよろしくご指導、ご鞭撻の程お願いいたします。

今から150年前までは、すべての日本国民が来ていた和装「きもの」ですが昨今の日本の生活においては「きもの文化」そのものが危機的な状況に陥っています。古来より日本人特有の美意識の根幹となる四季折々の美しさを最も身近に生活に取り入れてきたのが「衣・きもの」ではないでしょうか。その「きもの文化」は、日本人としての礼儀・作法を育み、京都を中心に各地の「伝統産業」の発展に寄与してきました。日本全国各地には、世界に類を見ない優秀な染織技術を持つ職人集団があり、これらの伝統技術を後世に継承し、また新時代を切り開いていくためにも日本の「きもの」を世界無形文化遺産に登録することを目指したいと思えます。

2020年「東京オリンピック」開催決定を受け、日本の「和食」とともに「きもの」から世界に誇れる伝統文化・伝統産業を発展させねばなりません。そのためにもこの運動を推進していくにあたり商工会議所の皆様方のご理解、ご協力を切に願っています。

知恵の連鎖による 次代の京都づくりを



電機・機械金属部会 部会長
村田 恒夫
株式会社村田製作所
代表取締役社長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年11月に立石会頭が3期目を迎えられ、私ども電機・機械金属部会も新たな体制でスタートいたしました。

電機・機械金属部会には独自の技術やノウハウ、商品、そして強い起業家精神を持った多くの企業が所属しています。市場ニーズの大きな変化や、急速なグローバル化など、私たちが取り巻く環境は非常に激しく、決して安定したものではありません。そのような状況の中において、私たちはいち早く変化に対応し、研ぎ澄まされた技術力と知恵をもって、京都の企業ならではの細やかな心配りと二流の感性で、新たな価値を生み出していきたいと思っております。そして、部会員同士の連携により、「ニュー京商ビジョン・サードステージ」のコンセプトである「知恵の連鎖」を進めて、豊かな「知恵産業の森」の一角を担えるよう頑張つてまいりたいと考えています。

本年が、皆様方にとりまして素晴らしい年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

安心・安全の都市づくり



建設産業部会 部会長
岡野 益巳
株式会社岡野組
代表取締役社長

新年明けましておめでとうございます。

今期より建設産業部会の部会長を務めることになりました。皆様方のご指導、ご支援をよろしく願っています。

さて建設業界は、一昨年末に誕生した新政権の経済政策「アベノミクス」による財政出動により、公共事業費の増額に伴う本格実施、更には今年4月1日からの消費税引き上げによる個人消費や住宅投資の駆け込み需要が下支えとなり、リーマンショック以来、建設業界は緩やかな回復基調にあります。

しかしながら、我々地域建設企業としては、「来年度には、これらの反動により景気が低迷し、購買意欲の低下によって現在回復基調にある民間建設投資が短期的なものになる」と懸念しているところであり、更に1年半後には、消費税が8%から10%の増税が予定されていることから、我々地域建設産業にとつては長期の不況から脱出できないまま、更なる追い打ちとなり、経営への影響は計り知れないものになると思われれます。

また、こういった不安は、公共投資が長年にわたつて削減され続けたことによる政治・行政への不信感によるものであり、政府に対しましては、景気の腰折れを避けるため「アベノミクス3本目の矢」成長戦略による、経済対策の具現化と今後現状を維持・発展し続けられるよう、予算の確保を望んでいるところでございます。

元々府内の公共投資額は、全国的にも低位にあり、せめて全国平均レベルまでの配分をお願いしたい。これは長年の悲願でもあります。

本年が皆様方にとりまして、実り多い年となります様、心より祈念申し上げます。

京の食と京都の街づくり



食品・名産部会 部会長
平井 義久
株式会社西利
代表取締役会長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

京都は、京の食や名産品にも強力なブランド力を持つております。これらのブランドをさらに成長させるためにも、食文化の発展が重要なカギを握つております。

前回550名を越える参加者を数える「食のつどい」は、毎年恒例で今年6回目の開催です。今年には素材を中心にすすめて参りたいと思います。食品・名産部会は、食を生業とする多くの企業や、食関連の事業の皆様達が一堂に会し、交流・親睦を深め、改めて京の食を知り、食を考え、食を見つめ直すことを目的としています。この度、日本の伝統的な食文化、和食がユネスコ無形文化遺産に登録決定いたしました。京都の特性を生かして和食文化をさらに発展させましょう。食品の虚偽表示の問題もこの機会に浄化されなければなりません。この会をきっかけとして部会員の皆様に新たな経営活力の礎を築いていただければと願っております。

賑わいの御池通りをつくるシンボルロードの実現。東京オリンピックにはカタチにしたい低床式路面電車LRTの課題。京のブランドと共に京にふさわしい景観を、街づくりに生かしながら、頑張つてゆきたいと思えます。

本年が皆様方にとりまして実り多い年となります様、心より祈念いたします。

新年を迎えて



化学部会 部会長
大柳 雅利
第一工業製薬株式会社
代表取締役 社長執行役員

新年明けましておめでとうございます。昨年11月より、新しい役員・議員体制がスタートいたしました。化学部会におきましても新たな体制の下でのスタートとなったわけですが、今後の部会運営についてさらに充実したものにしたいと考えております。

立石会頭が提唱された「ニュー京商ビジョン サードステージ」の3年間を迎えることとなり、「知恵の連鎖」がキーワードとなります。知恵ビジネスが進化を遂げようとしております。この考えに則り、化学部会としても今まで以上に活発な部会運営を目指してまいります。このことを肝に銘じ、少しでもお役に立てるよう工夫をこらしてまいります。

化学部会では、従前より、多くの従業員の皆様にもご参加いただく「交流懇親会」と、化学に関連した企業さんや公的機関の現場を見せていただく「視察会」を行っておりますが、本年も、少しでも多くの方に参加いただけるよう、いろいろなご意見を頂戴しながら部会運営をさせていただきますので、ご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

新年にあたって



一般工業部会 部会長
山元 康裕
関西電力株式会社京都支店
支店長

新年明けましておめでとうございます。昨秋から、新しい役員・議員体制がスタートしました。また、前期のビジョンを継承しながらも、「知恵産業のまち・京都の推進」実現のために、更なる成長に向けて「ニュー京商ビジョン サードステージ」が策定されました。私も一般工業部会も、この方針に沿って新たな発展へと向かって行きたいと思っております。

我々を取り巻く環境は今だ厳しく、解決すべき多くの課題が立ちふさがっております。問題の中には、エネルギー・環境をはじめ、我が部会に関係するキーワードが沢山あります。ぜひ我々は、この時代を「チャンス」と前向きに捉え、工夫とチャレンジで前進して行きたいものです。京都で受け継がれてきた知恵と伝統を大いに生かし、世の中の変化に柔軟に対応して行きたいと思っております。

会議所が、益々皆さんのお役に立てるようになり、より幅広く協力・情報の輪を広げ、交流を深めて参りたいと思っております。新年が皆様にとりまして、飛躍の年になりますようお願い申し上げます。

山本覚馬を忘れない



観光・運輸部会 部会長
岩井 一路
株式会社ハトヤ観光
代表取締役社長

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年の1年間に亘り放映された「八重の桜」を通し、山本覚馬がどのような人物であったかを知りました。同じ想いをされた方々もいらつしたのではないのでしょうか。

山本覚馬は同志社を創設された新島襄の妻・八重の兄であり、また当会議所の第二代会長であります。数々の困難に克ち、献身的な活動を通じて、全国に先駆けた教育、産業、社会、文化の面で、近代の京都へ大きな足跡を残されました。その想いが今日の当会議所の活動への系譜となっていることを胸に、原点回帰し活動をして参りたく思っております。

また、平成19年にスタートした「ニュー京商ビジョン」も、昨秋に知恵産業のまち・京都の推進の集大成とする「サードステージ」が策定されスタートいたしました。心新たにこのビジョンを十分に理解した上で、関係者の皆様、部会員の皆様、議員の皆様と一緒に、オール京都で「和と輪」がますます大きく強いものになるよう尽力して参ります。どうぞ倍旧のご支援・ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

京都から世界へ飛躍を



金融部会 部会長
布垣 豊
京都中央信用金庫
理事長

新年明けましておめでとうございます。昨年とは異なり、景気も回復傾向にあるといわれています。京都経済におきましても、和食が世界無形文化遺産に登録され、世界から注目されることで、波及効果が生まれるのではないかと期待しております。

地元経済におきましては、景気回復を実感するまでには至っておりませんが、この変革の時期を逃すことなく、経済活性化に向けた新たな取り組みを行うことが重要ではないかと考えます。昨今、専門性の高い技術を持ち、海外進出を視野に入れておられる企業が増加しており、私ども地域金融機関も新たなニーズに応え、きめ細やかな支援を行っていくことが求められています。地元企業の新たな挑戦をサポートし、共に発展していくことができるよう努力を重ねてまいります。

本年がみなさまにとりまして、健やかで実り多い1年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年に想う



文化・情報部会 部会長
湯浅 圭一
ジーク株式会社
代表取締役社長

謹んで新年のお慶び申し上げます。

1年を振り返って見た時、最も大きな出来事は安倍政権が誕生した事ではないかと思えます。内外共に多くの問題点を抱えているだけに、長期政権が続く事を期待しています。アベノミクスは今迄の所順調で、思いの外良い結果が出ているように思います。

文化・情報部会の運営においては、会員の皆様のニーズに応えるべく各議員を含め、全員が参加し討議し進めて行きたいと考えています。出来れば、地域にも何らかの役割に立てるような文化芸術活動に参加して行きたいと思っております。

本年もどうぞご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

東南アジアのダイナミズムを取り込め



サービス産業部会 部会長
齋藤 茂
株式会社トーセ
代表取締役社長

新年明けましておめでとうございます。昨年の安倍総理のASEAN歴訪は、新しいアジア外交の幕開けであり、長らく中国を注目していた国民に対して、新しい潮流を感じさせるものでありました。

実際、ASEAN諸国は、中国の急成長を横目で見ながら、自国の急成長の為には政権を放棄してでも、新しい経済手法を取り入れようと考え出しました。その結果、世界の投資がASEAN諸国6億人の市場に向かうようになりました。

弊社が関連するコンテンツ業界も、クールジャパン戦略に倣い、欧米と中国にしか注力してこなかった方向を転換させています。

今後、急成長が見込まれるASEAN市場では、幸運な事に多くの国が親日国であり、日本のマンガ、アニメ、ゲーム、ポップカルチャーのファンが数多く存在します。一方、インバウンドの面においても、京都を訪れるASEANの人々が激増することでしょう。我々は、この変化をチャンスと捉えなければなりません。

本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

女性会30周年を迎え、
さらに意欲的な活動を



女性会会長
株式会社鼓月
取締役会長
中西 たえ子

あけましておめでとございます。佳き年になりますように心からお祈りいたします。

私ども女性会にとりましては設立30周年を迎えるという、意義ある年でございます。諸先輩の方々とともに築きあげてきた基盤に、より意欲的な活動を重ねたいものです。女性の発想、知恵と元気で地域経済の発展に貢献したいと思っております。

一文字にまともていえば、今年の干支「馬」の字と「癸」を組み合わせた「駢」の字を旗印の気持ちとしております。「癸」の四方八方に張りめぐらすという意味からも、万全の目配りをして、おもてなしのアイデアなども萌芽させ、駿足で進む決意でございます。

知恵産業・新たな価値を生むまちづくり、京都に多様な人を惹きつけ交流することが必要ですが、魅力づくりに、女性会の果たす役割は大きいでしょう。

しなやかに力強く、品格ある女性会の活動に、ご期待、ご支援をお願いいたします。

青年部(YEG)の
未来に向かって



青年部会長
京都建設株式会社
代表取締役
太田 靖彦

新年明けましておめでとございます。

平素は立石会頭をはじめ本所議員、会員の皆様には青年部活動にご支援、ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

3期目となる立石会頭が掲げられる「ニュー京商ビジョン サードステージ」がスタートしましたが、創業者が多くなっている青年部会員におきましても、京都における自社の特徴を理解し、知恵を磨き活かすことが重要となつてきております。そして、個々の企業が発展することが「知恵産業のまち・京都」の実現に向けての一助になると考えております。

平成26年度は、青年部設立からの「夢」であります「全国大会京都大会」が京都の地で開催されます。全国から約7000名の青年部会員が訪れる予定をしておりますが、これは「青年経済人」が7000名訪れるということに意味があります。我々が「おもてなし」することから、今一度「産業都市 京都」を見つめ直し、考え、そして気付くことで、青年部が更なる成長を遂げることになるはずで、青年部が成長し、新たな未来に向かって歩み出すとともに、これからはもっと積極的に、京商活動に参加していくことが必要だと考えております。

今年も青年部への「指導、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

事務局から会員の皆さまへ



京都商工会議所
専務理事
奥原 恒興

新年明けましておめでとございます。

昨年の京商にとって、「職員が選ぶ10大ニュース」の上位3つは、「立石会頭3期目スタート」、「知恵ビジネスメッセの開催」、「12年ぶりに会員数が1万2千を超える」でした。

私にとって、いつも頭を離れないテーマは、どうしたら会員の皆様に「京商」に加入して良かったと思っただけかということとです。

HPや会報による情報提供、定例会員講演会、知恵産業・経営大会をはじめ魅力ある講演会やお役に立つセミナー等の開催、各部会や新入会員ビジネス交流会をはじめ様々な切り口による交流会の開催、経営支援の一層の充実など、会員の皆様の期待にこたえうる取り組みを、事務局職員一丸となって創意工夫しながら進めてまいりたいと改めて決意しております。

この1年、どうぞよろしくお願い申し上げます。